

【単元目標】

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
(1) オ 語句と語句の関係、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができる。	C(1) カ 文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げることができる。	登場人物の関係等に着目して自分の考えを広げることに進んで取り組み、学習課題に沿って互いの意見を交流しようとしている。

【既習内容】

「帰り道」(6年) ・視点のちがいに着目して読み、感想をまとめる。 「やまなし」(6年) ・作品の世界をとらえ、自分の考えを書く。
--

【目指す子ども像】

主体的に学ぶ姿	①学習課題を自分ごととしてとらえる。 ②見通しを持って粘り強く課題解決に取り組む。 ③自分の考えの変容や成長を自覚する。
対話的に学ぶ姿	①叙述に即して、自分の思いや考えを言葉で表す。 ②友達と伝え合いながら自分の考えを明確にしたり、友達の考えと比べながら自分の考えを修正したりする。
深く学ぶ姿	①学び合ったことを基にして、自分の考えをまとめる。

【児童の実態】

・物語のだいたいの内容を捉えることができる。叙述に沿って人物の心情を想像することはできる。 ・自分なりに考えをまとめることができる児童が多い。 ・自分の考えを伝えず、客観的に話し合いに参加している子も見られる。

【学習計画】

段階	学習テーマ	主な学習活動	目指す 子ども像に向けた学習内容と予想される子どもの反応	評価規準
見通し	登場人物の関係をとらえ、人物の生き方について話し合おう	①全文を通読し、初発の感想をもつ。 ②初発の感想の交流をもとに、学習課題を決め、学習の見通しをもつ。 ③物語の設定や展開を確かめる。	【主体的な学び①】 ・物語の内容について想像し、心に残ったところやみんなで考えたいところなどを中心に感想をもつ。 海が好きな人の話かな 海の生き物の話で、命を大切にしようという話だと思う。 環境について考える話かな。 【主体的な学び①②】 ・学習課題を解決するために、どのように学んでいくのかを考え、学習の見通しを持つ。 「与吉じいさ」の「千びきに一ぴき」という言葉が印象に残りました。 太一はなぜ「瀬の主」を打たなかったのが分かりません。みんなで考えたいな。 太一はなぜ「瀬の主」を父と考えたのだろう。	・登場人物の関係等に着目して自分の考えを広げることに進んで取り組もうとしている。 【主】記述・発言 ・学習課題を解決するための計画を立て、見通しをもっている。 【主】記述・発言

課題解決（広げる） 登場人物の関係をとらえ、人物の生き方について話し合おう 深める	④⑤⑥叙述を基に、「父」「与吉いさ」「母」の人物像を捉え、太一にどのような影響を与えたかを考える。 ⑦叙述を基に、「瀬の主」の様子を捉え、「瀬の主」と対峙した太一の心情やその変化について考える。 ⑧自分の読み深めをもとにして、物語の結末に対する自分の考えをもち、交流する。 6年2組本時 ⑨それぞれの人物の生き方について、自分の考えをまとめ、意見や感想を共有する。	【主体的な学び①】 【対話的な学び①】 ・登場人物の行動や会話などから「父」「与吉いさ」「母」の人物像と、太一との関わりを捉え、自分の思いや考えを言葉に表す。 大物のクエをしとめても自慢せず、「海のめぐみだからな。」という父は、謙虚で、海の生き物の命を大切にしている人です。 【主体的な学び①】 【対話的な学び①】 ・瀬の主に対する太一の心情や見方・考え方の変化について、他の人物との関わりと結びつけて考える。 「千びきに一びきでいいんだ。」という言葉や毎日同じ数しか魚をとらない与吉いさは、むやみな漁せず、海の命や海を守る人です。 【主体的な学び①】 【対話的な学び①】 ・父を倒した瀬の主をしとめることが太一の夢だ。 母は「夜もねむれないよ。」という言葉から、心配性で愛情あふれる人だと思っています。 【対話的な学び②】 【深い学び①】 ・これまでの読み深めをもとにした物語の結末に対する自分考えを互いに交流し合い、考えを深める。 父を倒した瀬の主をしとめることが夢だったから打つべき。 【深い学び①】 学び合ったことを基にして、物語を読んで考えたことをまとめる。 あこがれていた父を破った瀬の主を打つことが、「本当の一人前の漁師だと思っている。 【主体的な学び③】 友だちの書いた自分の読みと比べることで、自分の考えの変容や成長を自覚する。 打ちたいと思っていたけど、与吉いさの教えを受けて、本当にうっていいのかという葛藤が生まれたのだと思います。 【打つべき】 ・父を倒した瀬の主をしとめることが夢だったから打つべき。 ・憧れていた父を破った瀬の主を打つことが「本当の一人前の漁師と考えているから打つべき。 ・与吉いさの教え、「千びきに一びきでいい」ということの価値のある一びきをとる。父を越える。だから打つべき。 【打つべきではない】 ・「千びきに一びきでいい」という与吉いさの命を大切にする教えを守ることが大切だから、打つべきではない。 ・「本当の一人前の漁師」とは、大物をしとめる漁師ではなく、最小限だけの命をいただき、海の命を大切にする漁師だから、打つべきではない。 ・瀬の主は「海の命」そのものだから打つべきではない。	・叙述を基にそれぞれの人物像と相互関係、作品の全体像について想像している。 【思】ワークシート ・語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、人物を表す語や語句を使っている。 【知】発言・記述 ・物語の結末に対する自分の考えをまとめ、他者と考えを共有して、自分の考えを広げている。 【思】発言・記述 ・自分の考えを広げることに進んで取り組み、学習課題に沿って互いの意見を交流しようとしている。 【主】発言・記述
--	---	---	--